

# 香川県で生まれた新しいお米の紹介

## ● 新しいお米の育成

新しいお米は、2002（平成14）年に、香川県農業試験場で、食味と品質の良い「あわみのり」を母、食味が良い「ほほえみ」を父に、人工交配して生まれました。

その後、試験場や県内各地でいろいろな調査を行った結果、「ヒノヒカリ」より特に品質が良く、食味の良い米が収穫できることから、2010（平成22）年11月に香川県の奨励品種となり、種子の生産を待って本格栽培を開始することにしてします。

## ● 新しいお米はどんな米？

新しいお米の特徴は、

1. 草丈が短く倒伏しにくいいため、栽培しやすい。
2. 粳の熟れムラが少なく、きれいに熟れる。
3. 玄米の粒に丸みがあり、粒ぞろいが良い。
4. 「ヒノヒカリ」より出穂後の高温に強く、高温障害による白未熟粒（乳白、背白、基部未熟等）の発生が少なく、品質が良い。
5. 炊飯したときに、米の色が明るく艶がある。
6. 味にクセがなく、どんな料理ともあう。
7. 「コシヒカリ」並みの粘りと味で、おいしい。



「ヒノヒカリ」(左)と「新しいお米」(右)

## ● 新しいお米の今後の予定

平成23年度は、県内各地で、品質が良くおいしい米をつくり販売するための試験栽培等を行う予定です。

消費者の皆様にも、未永く可愛がって買っていただけるような「器量好しの米」に仕上げるために、農家の皆さんもJA等の関係者もがんばって栽培し、育てていきます。



玄米の粒の写真

香川県生まれの新しいお米は、今年皆さんの近くでも試験栽培を行います。皆さんで、見守ってください。